

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- | | |
|---|-----|
| ・ 土地活用モデル大賞第一次審査結果 | P 1 |
| ・ 京浜急行電鉄（株）羽田空港地下駅および蒲田駅付近連続
立体交差工事情報コーナー見学会（地下研・UIT 合同） | P 3 |
| ・ 機構の活動状況 | P 4 |

§ 土地活用モデル大賞第一次審査結果

当機構では、国土交通省の後援のもとに、土地の有効活用や適切な維持管理に取り組み土地活用の模範的事例、「成功モデル」となる事例を募集し、優れた事例について「国土交通大臣賞」「都市みらい推進機構理事長賞」「審査委員長賞」の表彰を行い、優れた土地活用事例を全国的に紹介し、その普及を図っています。

今回で7回目を迎える、平成22年度土地活用モデル大賞につきましては、去る9月2日に第一次審査を行い、下記の6プロジェクトを選考しました。

《プロジェクト名称》

- ・ 松文産業跡地整備事業〈鶴岡まちなかキネマ整備事業〉（山形県鶴岡市）
- ・ 平河町二丁目東部南地区第一種市街地再開発事業（東京都千代田区）
- ・ 低利用地を活用した保育所整備事業PJ〈アスク石神井台保育園〉（東京都練馬区）
- ・ 上田市馬場町地区再開発プロジェクト（長野県上田市）
- ・ 城崎温泉「木屋町小路」（兵庫県豊岡市）
- ・ 山鹿市プラザファイブ地区暮らし・にぎわい再生事業（熊本県山鹿市）

（ ）は所在都市



今後、各プロジェクトの現地調査を行い、最終審査を経て受賞プロジェクトを選定します。

なお、土地活用モデル大賞の表彰は、10月22日に開催し、受賞プロジェクトについては、同日に開催される土地月間記念講演会において概要発表が行われます。

○日 時：平成22年10月22日（金）

○場 所：発明会館ホール 港区虎ノ門2-9-14

☆土地活用モデル大賞表彰式

1. 時 間：13:30～14:05

☆土地月間記念講演会

1. 時 間：14:15～16:45

2. 主 催：(財)都市みらい推進機構、(財)土地総合研究所

3. 後 援：国土交通省、経済同友会、日本商工会議所、(財)日本不動産研究所、
(株)日本政策投資銀行（予定）

4. 内 容：

状況報告 ●土地行政の最近の動きについて

国土交通省 土地・水資源局 土地市場課長 田尻 直人氏

●平成22年度土地活用モデル大賞全受賞プロジェクトの概要説明
各プロジェクト応募者

講 演 ●土地バブル崩壊から20年 教訓は生かされたか

中部大学教授 齋藤 宏保氏（元NHK解説主幹）

（講演会に関する詳細については、別途ご案内いたします）

選考プロジェクトについて、プロジェクト関係者として申請したい方を追加募集します。詳しい内容につきましては、事務局までお問い合わせください。

（土地活用モデル大賞事務局）

〒112-0013

東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽3F

財団法人 都市みらい推進機構内

土地活用モデル大賞事務局 森田、林

TEL：03-5976-5860 FAX：03-5976-5858

e-mail：chousa@toshimirai.jp



§ 京浜急行電鉄(株) 羽田空港地下駅および蒲田駅付近連続立体交差工事情報コーナー見学会 (地下研・UIT 合同)

去る8月19日に、京浜急行電鉄(株)のご協力を得て、新しく建設された羽田空港地下駅および蒲田駅付近で進められている連続立体交差事業等についてパネル、映像、模型で概要がわかるように設けられた情報コーナーの見学会を開催、30名が参加しました。

平成22年10月21日にオープンする予定の羽田空港国際ターミナル地下駅の見学会では、集合した天空橋駅からセキュリティがかかっている現地まで大型バスにて移動するため、その移動時間を活用して、京浜急行電鉄(株) 鉄道本部蒲田連立・空港線担当の三原部長から、配布された3種類のパンフレット(京急線羽田空港国際線ターミナル駅、都市高速鉄道京浜急行電鉄本線及び同空港線の連続立体交差事業について、直接高架工法)を用いて、概略の説明を受けました。また、ほぼ完成し内装工事等が進められている現場では、それぞれの担当者から、詳細な説明がなされました。

主な特徴としては、対面式ホーム(ホームドア方式)が採用されており、国際空港ターミナルのため、多くの乗客が大きな荷物を持つ移動であることを配慮して、ホーム幅が片面14mあり、スムーズな移動がなされることと期待している旨の説明がありました。また、国際線出発ロビーへの移動のため、30人乗り大型エレベータ(下りホーム4基、上りホーム3基)が、エスカレータは、通常より速いタイプがそれぞれ設備されているとのことでした。さらに、案内サインは日・英・中・韓の4ヶ国語表記で、視認性の高い位置や素材が採用され、駅舎屋根には太陽光発電設備を設置し、CO₂削減対策も取られているとのことでした。

地下駅の見学終了後、バスで京急蒲田駅横に設置されている情報コーナーに移動し、写真に示すように展示されている連続立体事業のあらまし、事業概要(平成11年都市計画決定)、新施工法(直接高架工法)等のパネル、模型、映像による説明を聞きスケールの大きさに参加者一同感嘆しました。



14m幅のプラットフォーム



下りホーム大型エレベータ





§ 機構の活動状況

日	8月	日	9月
2	地域活性化統合事務局と意見交換	1	葛飾区役所と意見交換
4	上田市文化・交流施設等設計者選定専門委員会（第1回）	2	土地活用モデル大賞第2回審査委員会
5	首都圏定期借地借家権推進機構と意見交換	10	日本経営協会と意見交換（PRE）
10	葛飾区と意見交換	14	日本ショッピング協会役員と意見交換
10	首都高速道路㈱と意見交換	17	上田市文化・交流施設等設計者選定専門委員会（第3回）
11	高知市商店街活性化委員と意見交換	19	高知はりまや橋商店街との意見交換
17	東久留米産業推進協議会参加	28	春日部市・地中熱利用ヒートポンプ空調システム見学説明会
20	上田市文化・交流施設等設計者選定専門委員会（第2回）	29	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会 （国交省 街路交通施設課）

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

5	大阪分科会国交省活動報告	6	八重洲・京橋・日本橋地区分科会（WG）
6	八重洲・京橋・日本橋地区分科会幹事会	10	地下利活用検討分科会リーダー打合せ
10	情報化推進部会	14	地下利活用検討分科会（WG）及び見学会
19	八重洲・京橋・日本橋地区分科会コアメンバー会	29	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会 （国交省 街路交通施設課）
19	京急羽田地下駅見学会		
19	事業部会		
20	地下利活用検討分科会リーダー会		
23	八重洲・京橋・日本橋分科会東京都活動報告		
23	八重洲・京橋・日本橋地区分科会コアメンバー会中央区説明		
25	地下防災コアメンバー会議		
30	地下利活用検討分科会国交省活動報告		
31	八重洲・京橋・日本橋地区分科会コアメンバー会		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

5	技術研究発表委員会	7	企画運営部会
19	京急羽田地下駅見学会（主催地下研）	7	技術交流部会
24	低炭素都市づくり研究会（第3回）	16	論文審査委員会
		29	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会 （国交省 街路交通施設課）

《まちづくり情報交流協議会》

24	まちづくり情報交流協議会企画運営委員会 （資料貸与協議）		
25	まちづくり情報交流協議会企画運営委員会 （秋季研修会講師報告）		

（財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他